

角田竹涼 たけがやう 俳人。明治二十五年五月十六日東京神田猿樂町生れ、  
昭和五年五月十一日歿（一八九二—一九三〇）。本名龍雄。角田竹冷の三男。  
一時笹原家に入るも、のち角田氏に復す。へん考の薰化を受け、幼き  
より俳句に親しみ、長ずるに及んで、獨自の境地を拓き、一家を成す  
に至る。家藏竹冷文庫あり、研鑽よく史學を明らむ（見識をこころ）（星  
野琴人）。

遺稿『竹涼集』（昭和六年五月十日角田興一刊）。



竹涼集